

知ってください 今年取り組み



平成31年度 伊達市事業説明書の発刊にあたって

市が行う行政サービスや各分野の事業には、大小問わず全て予算が伴います。

毎年どのような事業があって、どのような予算規模で行われるのかを知るには、その年度の予算書を見て頂ければ良いのですが、実際の予算書は事務的かつ専門的に記載されているため、分かり難い作りになっています。そのため、より多くの市民の皆さんに、今年度市が取り組む主な事業の役割や予算を知っていただけるように、出来るだけ分かり易く、この冊子に取りまとめました。

去年は、相馬福島道路の一部開通や道の駅「伊達の郷りょうぜん」のオープンにより、市内の交通や生活環境が大きく変化しました。今後予定されている全線開通により、さらに人・モノのネットワークが広がり、観光交流や企業活動の活性化が期待されており、本市のまちづくりも新たなステージへと動き出します。

そのような中で、今年度は、本市の未来を築くため、魅力を更に磨き上げ、市民一人ひとりが元気よく生活することができるよう様々な施策に取り組む「未来・魅力・元気 ～チャレンジ元年～」と位置付けました。

伊達市の未来にとって大切なことは何かと考えたとき、私は若い年齢層の増加だと思えます。若者が定着することで全ての世代に活力が生まれ、地域の活性化につながっていくものと考えております。

このため、平成31年度の予算編成にあたっては、本市の未来を支える若者の地元定着と市外からの移住促進のため、新工業団地の造成や新規就農支援など働く場の確保を図るための産業政策に重点的に取り組むものとししました。また、本市の魅力を更に磨き上げ、市民一人ひとりが元気よく生活することができるよう、引き続き元気づくり会などを中心とした健幸都市施策や、伊達市版ネウボラ事業などの子育て支援施策を推進します。

平成31年度は、これらを整理した「10のまち」に係る事業を基軸に、「誇れるまち 選ばれるまち 選ばれ続けるまち」であるよう、チャレンジする姿勢で市民に身近な市政を推進して参りますので、今年度もよろしくお願い致します。

平成31年4月

伊達市長

須田博行

目 次

平成 31 年度 当初予算の概要・ポイント	4
-----------------------------	---

伊達市の 10 のまちづくり	6
----------------------	---

事業説明書の構成と見方	8
-------------------	---

【特集】誇れるまち 選ばれるまち 選ばれ続けるまちへ

伊達市の 10 のまちづくり

1. 農業・林業のまち	10
2. 若い世代が住みやすいまち	12
3. 高齢者の生きがいと健幸・福祉のまち	14
4. 協働のまち	15
5. 教育のまち	17
6. 歴史・観光のまち	19
7. 商工業のまち	21
8. 移住・定住推進のまち	22
9. 安全、安心、便利なまち	24
10. 放射能を克服するまち	26

第2次総合計画事業

【政策1】 ともに紡ぐ協働のまちづくり	29
【政策2】 豊かな心を育むまちづくり	43
【政策3】 地域の魅力が輝くまちづくり	55
【政策4】 ところ寄り添う健やかなまちづくり	63
【政策5】 自然と調和し快適で住みよいまちづくり	73
【特別対策】 放射能を克服するまち	93

資 料 編

・第2次総合計画のあらまし	98
・当初予算の内訳（歳入・歳出、基金、借入金、財政状況など）	100
・補助金支出先	107
・施設維持管理費	114
・用語の説明	117
・基金の説明	118
・目で見える伊達市の姿	120
・問い合わせ窓口	124
・市役所本庁舎案内図	125
・伊達市民憲章	126

平成 31 年度 当初予算の概要・ポイント

平成 31 年度の一般会計、特別会計および公営企業会計をあわせた全体の予算規模は、528 億 4,148 万円となりました。この金額は、昨年度より 3.5%増加した金額となります。

※数値については、表示単位未満の端数を調整している場合があります。

伊達市全会計
528 億 4,148 万円

一般会計予算 343 億 5,102 万円

(前年比 5.5%増)

通常、市の予算といえば一般会計予算のことをいいます。

市の基本サービスである福祉、教育、道路や公園の整備などを行うための予算となります。

特別会計予算 160 億 8,884 万円

(前年比 0.7%増)

特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税などの特定の収入をもとに、一般会計とは切り離して収入と支出を経理します。伊達市では、次の 8 つの特別会計があります。

- ①国民健康保険特別会計
- ②後期高齢者医療特別会計
- ③介護保険特別会計
- ④公共下水道事業特別会計
- ⑤栗野地区農業集落排水処理事業特別会計
- ⑥工業団地特別会計
- ⑦月舘町宅地造成事業特別会計
- ⑧財産区特別会計（12 財産区）

公営企業会計予算 24 億 161 万円

(前年比 4.9%減)

民間企業と同じように、事業を行い、収益を上げて運営している予算です。

伊達市では水道事業会計がこの予算となります。

■一般会計のポイント

平成 31 年度は、地域産業の振興を目指して、新工業団地の造成や新規就農支援など働く場の確保を図り、本市の未来を支える若者の地元定着と市外からの移住を促進させるため、産業政策に重点的に取り組みます。また、本市の魅力をもっと磨き上げ、市民一人ひとりが元気よく生活することができるよう、引き続き元気づくり会を中心とした健幸都市施策や伊達市版ネウボラ事業などの子育て支援施策を推進する予算としました。

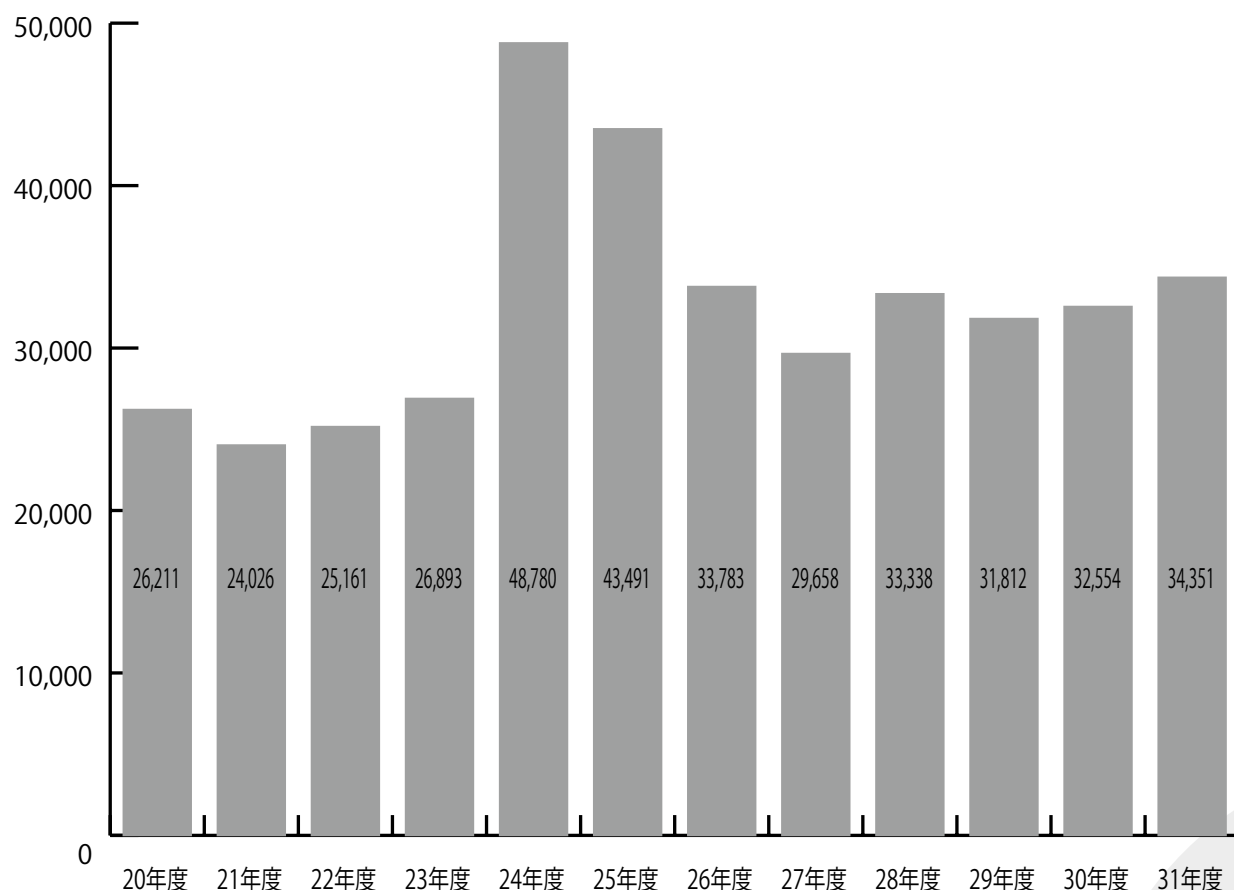
これらの事業を「10 のまち」として整理し、総合的に取り組んでまいります。

当初予算の構成

全体 343 億 5,102 万円（対前年 17 億 9,702 万円の増 5.5%の増）

一般会計（当初予算）の推移

（百万円）



伊達市の 10 のまちづくり

高齢者の生きがいと健幸・福祉のまち

教育のまち



市民との交流を深める演奏会の開催、特色ある教育を実施する小中一貫校の整備、共同生活により生きる力を育むための通学合宿所の整備、スクールコミュニティの推進など、特色ある教育を推進し、教育力の更なる向上を図ります。



運動習慣化の推進、歩きたくなるまちの全市展開、健幸ポイント事業の実施、自立した日常生活を送れるよう地域包括ケアシステムの充実、手話奉仕員の配置など、健幸・福祉施策を拡充させ「健幸都市」の一層の充実を図ります。

商工業のまち



空き店舗を活用した創業や店舗改修への支援、魅力ある新商品の開発支援、商工業の振興・活性化の計画策定、首都圏での企業立地セミナーの開催など、商工業の振興や活性化を推進します。

誇れるまち

選ばれるまち

選ばれ続けるまち

放射能を克服するまち



仮置き場から中間貯蔵施設への除染廃棄物の搬出、ため池底の放射性物質の除去や、内部、外部被ばく検査を継続して実施します。

移住・定住推進のまち



相談窓口を都内に設置、移住希望者に対する空き家改修費用の助成や住宅取得費の一部助成、県内初の「伊達市版 CCRC 事業」への着手などの支援策を展開し、移住・定住を促進します。

農業・林業のまち



就農者への支援の拡充や、福島大学との連携、6次産業化の推進、森林資源の活用など、地域資源を活用した農林業の振興を図ります。

若い世代が住みやすいまち



独身男女に対する出会いの場の提供、切れ目のない子育て支援、子どもの居場所づくり、雇用の確保など、若い世代が不安なく快適に生活できる環境を整えます。



伊達市

未来

魅力

元気

協働のまち



よそ者の視点から地域を振興する地域おこし支援員の配置、地域自治組織の活動への支援、ともに助け合う共助社会の構築、支所機能の充実など、市民と市が協働で住みやすいまちづくりを進めます。

歴史・観光のまち



歴史資源を活用した観光誘客の促進、道の駅を活用した観光や地場産業の振興、伊達氏関連遺跡の国史跡化の推進、伊達の養蚕用具の展示など、本市の誇れる歴史・観光資源を最大限活用し、交流人口を増加させます。

安全、安心、便利なまち



道路や橋りょう等インフラの強靱化、市民の足としての「まちなかタクシー」の拡充、未来を見越した自動運転技術の調査、良好な住環境を確保する高子駅北地区住宅団地整備への支援など、安全で安心かつ便利なまちを目指します。

事業説明書の構成と見方

この事業説明書は、平成31年度に市が行う主な事業の概要や実施内容をわかりやすくお知らせするために作成した冊子です。

平成31年度は、「誇れるまち 選ばれるまち 選ばれ続けるまち」を実現するためのチャレンジ元年と位置付け、若者の地元定着と市外からの移住促進のための産業政策、健幸都市施策、子育て支援施策などの事業を「10のまち」として整理し取り組んでいきます。

事業の掲載にあたっては、はじめに「10のまち」の主要事業を特集として紹介、その他の主要事業を第2次総合計画の政策別にまとめて紹介します。

資料編には当初予算の内訳と財政状況、各種補助金、施設の維持管理費、統計データから抽出した「目で見える伊達市の姿」を掲載しました。

なお、各ページの事業説明の内容は、下の例のようになっています。

【事業名】

原則として事業ごとに説明しています。なお、新規事業や拡充事業にそれぞれ印をつけています。

【担当課・事業費】

担当部署と全体予算を記載しています。各課の連絡先は124ページに掲載しています。単位は、千円を四捨五入して1万円単位で表しています。

拡充

就農支援事業

担当課 農政課

2,125万円

【事業概要】

新規就農者の確保と定着を支援します。

【実施内容】

- 就農者確保事業
伊達市農業の情報を発信し、就農イベントに出展することで、市における就農を喚起・促進します。
- 農地賃借料補助、農業機械施設補助
新規就農者の農業経営資源の整備に補助します。
- 農業後継者支援
他産業からの後継者就農を支援します。
- 移住就農者家賃補助、移住就農者生活支援
市に移住して就農する方を支援します。
- 農業次世代人材投資資金（経営型）
独立自営の新規就農者の経営を支援します。

【前年度実績】

農業次世代人材投資資金の交付 8人

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	925	1,200



フリーマーケットに出店する担い手農家

【財源】事業費の財源を次の3つの区分で表しています。

市の負担：税金などの一般財源です。基金や市債もこの区分に入れています。
国・県の負担：国や県の補助金や負担金で充当される部分です。
その他：上記に含まれない財源です。例えば保育料、使用料、手数料などです。

【前年度実績】

特に記載のない場合は平成31年2月末現在の実績を記載しています。